

各位

(一社) 日本環境測定分析協会
放射能測定分析技術研究会

第2回放射能測定クロスチェック(水質)について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質の対策が行われる中、その測定における技術や精度管理の確立が重要であると考えられ、(一社)日本環境測定分析協会では、「放射能測定分析技術研究会」を立ち上げました。平成24年度に、その活動の一環としてクロスチェック実施いたしました。今回平成25年度の活動として第2回目のクロスチェックを実施することとなりましたのでご案内申し上げます。

記

1. 試験番号 RADI2013-01
2. 試験名 第2回放射能クロスチェック
3. 試験項目 セシウム-134 及びセシウム-137
4. 分析方法 クロスチェック実施要領による
5. スケジュール
 - ・ 申込受付 平成25年8月1日から8月30日
 - ・ 試料配布 平成25年10月1日から10月2日
 - ・ 結果報告期限 平成25年10月18日
 - ・ 報告書の発行 平成25年11月30日
6. 参加費
日環協会員：28,000円 一般：60,000円
参加費の払い込みは、「払込取扱票」を試料と一緒に送付しますので、「払込取扱票」を使用して、郵便振込としてください。試料到着後、極力早めをお願いいたします。
7. 実施要領、申込方法
実施要領は、別紙1に示すとおりであり、申込は別紙2の用紙を用い、メール（やむを得ない場合ファックス）で下記連絡先まで送ってください。
試料調製の都合上、試料は、1事業所1個とさせていただきます。
8. 連絡先
(一社) 日本環境測定分析協会 放射能測定分析技術研究会事務局
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 JEMCA ビル
TEL : 03-3878-2811 FAX : 03-3878-2639
E-mail : radiken2012@jemca.or.jp

別紙 1

クロスチェック実施要領

1.試験番号 RADI2013-01

2.試験名 水質の放射能濃度

3.試験項目及び濃度範囲

試験にあたっては、下記の濃度を参考にしてください。

試験項目	濃度範囲	備考
^{134}Cs 、 ^{137}Cs	5~100 Bq/L	3L ポリビン

4.試料の調製法

飛灰溶出液を濾過後、希釈し調製したもの。

5.試料の配布

Cs-134 及び Cs-137 を含む試料 1 種類

宅配便で送付します。

6.試料の保存

放射線量は低いいため、特別な管理をする必要はありません。また、有害金属等は含まれておりません。安定化のため硝酸酸性としています。測定後中和処理を施し、放射性セシウムの排水基準（Cs-134：60Bq/L、Cs-137：90Bq/L）以下になるように希釈すれば、そのまま下水に放流が可能です。

7.分析方法

試料は、3L ポリビンで送付しますので、各自測定容器に詰め測定してください。

測定は、ゲルマニウム半導体検出器、または NaI シンチレーションスペクトルメータをもちいて、 ^{134}Cs 、 ^{137}Cs それぞれの放射能濃度または合計（ $^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}$ ）の放射能濃度を Bq/L として測定してください。

試験方法は、ゲルマニウム半導体検出器については、文部科学省の放射能測定シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」平成4年改訂、NaI シンチレーションスペクトルメータについては、文部科学省の放射能測定法シリーズ6「NaI(Tl)シンチレーションスペクトルメータ機器分析法」昭和49年に準拠とする。

これ以外の分析方法を用いた場合は、分析方法を記載してください。

8.結果の報告

測定結果は、別紙 3 の記載要領に従い記入してください。

9.報告期限

平成 25 年 10 月 18 日まで（厳守してください）

報告は、メールで事務局へ送付してください。

10.その他

結果の概要については、学会等において発表させていただくことがありますのでご了承ください。その場合、各機関が特定されないよう配慮します。